

ゲームやディスカッションを通じて、ワイワイ楽しく人権について考える学習会です。
皆さんの御参加をお待ちしております！

第 1 回 身近な障害者—当たり前な生活を振り返る—

日 時：平成 25 年 12 月 5 日（木）13:30～16:00（13:00 開場）

講 師：倉田 純一（関西大学システム理工学部准教授）

とが
梶 紀久代（プチハウスなな代表，NPO 法人サン・クラブ理事長）

第 2 回 「震災」を鏡として—様々な人権課題を考える—

日 時：平成 26 年 1 月 29 日（水）13:30～16:00（13:00 開場）

講 師：渡辺 毅（穀雨企画室代表）

全 2 回（各回定員 40 名・応募多数の場合は抽選）

※ 1 つのテーマから参加可能です。もちろん、両方のテーマへの参加も可能です。

申込締切日 第 1 回 平成 25 年 11 月 28 日（木）まで
第 2 回 平成 26 年 1 月 22 日（水）まで

※ 申込方法は、裏面
を御確認ください。

会 場（第 1 回，第 2 回共通）

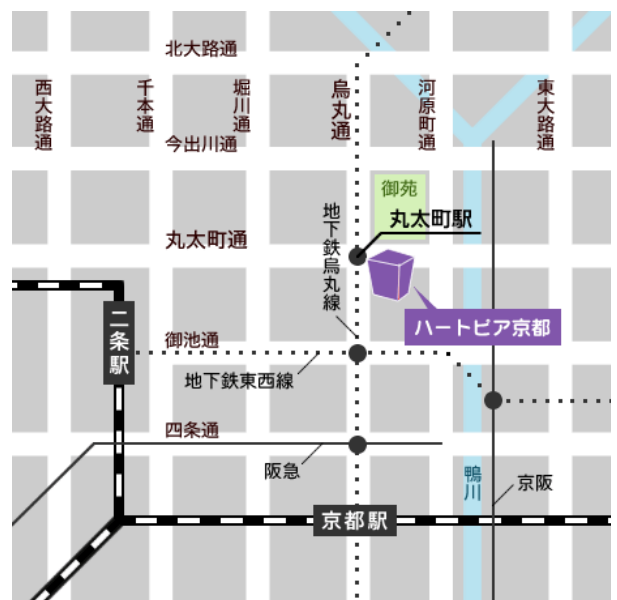
京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都 第 5 会議室

（京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町 375 番地）

<交通アクセス>

- ・京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車
5 番出口（地下鉄連絡通路にて連結）
- ・京都市バス，京都バス，JR バス
「烏丸丸太町」バス停下車
烏丸通り沿い南へ徒歩すぐ

主催 京都市
関西大学（第 1 回のみ）



内 容

第 1 回 身近な障害者—当たり前な生活を振り返る—

「障害」は個人の身体能力だけではなく、社会的条件によって生み出されることがあります。以前と比較すると、「障害」の対象は多種多様になっており、その障害に対する色々な配慮によって生活の質の改善が図られています。今回は、身近な出来事とそれに関する改善策を「ものづくり」の面から提案してきた障害者と健常者の 2 名の講演者が、「障害者への気付き」や「当たり前な生活を送るための生活改善への提案」などについて参加者へ問いかけます。

この機会に、少し視点を変えて、当たり前な生活を振り返ってみませんか。

第 2 回 「震災」を鏡として—様々な人権課題を考える—

東日本大震災の経験から、改めて人と人とのつながりの大切さが見直されていますが、同時に震災によって人間の尊厳がないがしろにされる事態が発生したことを忘れてはなりません。また、原発事故の影響から、風評被害をはじめとする新たな人権問題も起こっています。

そのため、震災の経験を「鏡」として、私たち一人一人がそれぞれの人権への向き合い方を見つめ直すことは、震災からの復興を進める点からも、また真の人権社会を実現していく点でも大切なことであると考えます。

今回のワークショップでは、「震災」を通じて、人権についての考え方を深めることを目的とします。

申込方法

郵便番号、住所、氏名、電話番号、企業から参加の場合は勤務先、参加を希望するテーマを明記のうえ、各回の申込締切日までに、以下のとおりお申し込みください。

申込者の住所、氏名等の個人情報本事業に関する御連絡や御案内のみに使用し、ほかの目的には使用しません。

電話・FAX・インターネットにてお申込みの場合

京都いつでもコール 電話 075-661-3755 FAX 075-661-5855

※ お掛け間違いに御注意ください！！

インターネット パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>

携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>

はがきにてお申込みの場合

〒604-8571 (住所記入不要)

京都市人権文化推進課「和い輪い人権ワークショップ」係

同じです あなたとわたしの 大切さ

平成 25 年 10 月発行

京都市文化市民局市民生活部人権文化推進課

京都市印刷物第 254501 号

